

## 御挨拶

国際交流推進室ニュース第9号をお届けします。

2014年4月から博士課程教育リーディングプログラム「ファイナルネッサンスを先導するグローバルリーダーの養成」がスタートしました。初年度は8名の学生がプログラムコースに在籍し、世界に通用するグローバルリーダーを目指して、日夜、勉学に励んでいます。プログラムのスタートに伴い本年は、海外からの来訪者も多くなることが予想され、国際交流関連のセミナーやプロジェクトなども活発に行われる予定です。昨年度までの活動(日本人学生の留学支援、留学生ガイダンスや研修旅行、フランス語講座実施など)の充実に加え、今年度からの新規事業(「英語サロン」のような英語を用いた交流の場の提供など)に取り組んでいきたいと思っております。より一層の皆様方からのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

## 第1回海外留学説明会を開催

2014年4月、国際交流センター主催による留学説明会が行われ約25名が参加しました。国際交流センター佐藤友則先生より交換留学、長期派遣留学、私費留学などの様々な留学スタイル、必要な語学力と対策、大学の留学関連プログラムやイベントの予定、奨学金、就職活動との関連等、下坂繊維学部国際交流推進室長よりフランス ENSAIT とのダブルディグリープログラム、繊維学部学生の海外派遣状況、新たな海外留学支援制度トビタテ留学 JAPAN、大学間連携事業「繊維・ファイバー工学コース」そしてスタートしたばかりのリーディング大学院プログラム「ファイナルネッサンスを先導するグローバルリーダーの養成」等の説明がありました。また、昨年度、オセアニアの環境保護活動に参加した繊維学部生の海外ボランティア体験談が披露されました。



海外留学説明会のようす

## 千曲会同窓会の開催

本同窓会はかつて繊維学部在籍した中国留学生によって結成されたものです。第1回目(2010年、蘇州大学)、第2回目(2012年、信州大学繊維学部)に続いて、今回は(2014年5月10日、11日)、重慶市の西南大学と重慶師範大学で開催されました。当日は40名ほどの懐かしい同窓生の皆さんが中国各地から駆けつけていただけました。繊維学部からは、中垣雅雄、森川英明、下坂誠の3名が出席いたしました。



千曲会中国同窓会記念写真  
(西南大学にて)

## 繊維学部留学生ガイダンスを開催

2014年5月、今年度、上田キャンパスに入学、進学した留学生向けのガイダンスを実施しました。

東京入国管理局長野出張所、上田市多文化共生推進協会、上田警察署から来賓をお招きし、留学生向けに役立つ情報を披露いただきました。国際交流推進室副室長から歓迎のあいさつ、日本語学習 e-ラーニングコースの紹介、カウンセラーからは健康管理と相談についての案内がありました。引き続きマルベリーホールにて歓迎交流会を行いました。



留学生歓迎交流会のようす

## 仏ENSISAより2名の教授の訪問

2014年4月、繊維学部の学部間交流協定校であるフランスオート・アルザス大学南アルザス国立高等理工学院(ENSISA)から Dominique Adolphe、Laurence Schacher 両教授の訪問を受けました。両教授には特別講演「Introduction of ENSISA and its research projects」をいただきました。ENSISAとは2010年に交流協定を締結後、相互に1名の学生を交換留学生として派遣および受入れた実績がありません。

## タイ泰日工業大学学長の訪問

2014年4月、タイ泰日工業大学クリサダー学長、ラティコーン情報学部長および水谷光一先生が繊維学部を訪問されました。今後の学術交流について意見交換を行い、現在の学部間交流協定の大学間への格上げを検討することで合意しました。なお、来訪の1週間後、長年の日本-タイ間の文化学術交流への貢献に対して、クリサダー学長が「旭日中綬章」を受勲されることが決まりました。

## 中国蘇州大学元副学長の訪問

2014年4月、信州大学の交流協定校である蘇州大学の張 学光先生(元副学長)、陸 惠星先生が共同研究打合せのため繊維学部を訪問されました。

## 香港理工大学ITC所長の訪問

2014年4月、繊維学部の交流協定校である香港理工大学繊維被服研究所(ITC)の Prof. John H. Xin 所長、Dr. Bin Fei、Ms. Nicy Luo が産学官連携施設 Fiber Innovation Incubator(Fii)棟の視察に訪れました。

## 仏 ENSAITへダブルディグリープログラム生を派遣

繊維学部では2008年にフランス国立繊維工業高等学院(ENSAIT)と修士課程レベルのダブルディグリープログラム実施協定を結びました。ダブルディグリーとは信州大学と ENSAIT の両学位(修士相当)を同時に取得できる制度のことで、2014年7月に、2人目のプログラム参加者として修士課程1年生をENSAITでの2年間の留学に送り出します。2年後の成長を楽しみに、期待をかけて応援しています。

## 繊維学部留学生の動向

本年の3月24日に学位授与式が開催され、7名の博士課程学生と6名の修士課程学生、1名の学部学生を送り出しました。また、4月には、2名の博士課程学生と5名の修士課程学生、3名の学部生が入学しました。これで、5月現在の繊維学部キャンパス留学生の総数は41名となりました。

### 繊維学部への留学状況(課程と出身国)

博士課程	15	中国	30
修士課程	11	マレーシア	5
学部	11	韓国	4
研究生	4	フランス	1
計	41	モンゴル	1
		計	41

## 留学生代表ご挨拶

日頃から、私たち留学生の活動にご支援、ご協力を頂き心から感謝しております。ここ数年、留学生の人数が減少しており、留学生同士の活発性を失いつつあります。そういった中で、日本人学生との交流を深め、日本語を学び、日本文化に馴染むことが何より重要だと考えています。現在、数多くの留学生が日本語補講に積極的に参加し、一生懸命日本語の勉強をしています。また去年からスポーツサークルでは、日本人の学生や学務の職員の方と一緒にバドミントンやバスケットボールを行い、楽しく活動しています。今後も日本人学生、教職員との交流を深める活動、イベントを行い、留学生会を盛り上げていきたいと考えています。日本人の学生、教職員の方も、ぜひ私たち留学生会に声をかけて頂ければと思います。最後になりますが、いつも私たちに暖かい支援をしてくださる「繊維学部外国人留学生支援の会」に感謝を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

繊維学部留学生代表 熊 向東(ジュン ショウトウ)

## 国際交流推進室 室員紹介

下坂 誠(室長、生物機能科学課程)  
平林公男(副室長、生物資源・環境科学課程)  
金 翼水(副室長、機能機械学課程)  
鮑 力民(機能機械学課程)  
ハニウッドマイケル(感性工学課程)  
平田雄一(応用化学課程)  
金井博幸(先進繊維工学課程)  
福長 博(材料化学工学課程)  
パタキー トッド(バイオエンジニアリング課程)  
キャシー マクナミー(応用化学課程)

◆国際交流推進室ホームページ◆

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/exchange/>